

学位被授与者氏名	黄 嵐 (こう らん)
論文題目	電気通信サービス市場における契約解除料制度研究
論文審査結果の要旨	<p>本論文は、現代経済において急速に変化している ITC 産業に関する研究であり、その中でも、最近、日本政府によって指摘され取り組んでいる、携帯電話サービス産業における契約解除料制度についての理論的研究である。ここでは、日本と中国における現実の契約解除料制度の相違点に着目し、契約解除料制度の特徴を分類し、独自の理論モデルをもちいて、これらの制度が携帯電話サービス市場取引に及ぼす影響を明らかにしている。</p> <p>これまで、契約解除料については、スイッチング・コストの一種として捉えてきたため、制度としての契約解除料についての議論はほとんど行われて来なかった。このような点からすると、本論文は、契約解除料をより一般的な制度として捉えた独創的なものであると評価することができる。</p> <p>研究内容においては、明確な問題意識が示されており、本論文における研究対象である携帯電話サービス産業の本質に関する国内外の研究を踏まえて、研究の位置づけを明確にしている。また経済学における基本的分析手法を的確に応用し、論理的な解明を行い、契約解除料制度の複雑な本質を明らかにしている。これらの点が、本論文が高い評価に値する理由となっている。ただし、本論文の分析内容が複雑なものとなっているので、もう少し内容を整理し論点を絞る工夫をすることで、より大きなインプリケーションが得られ、その評価はさらに高いものになると考えられる。</p> <p>今後の研究方向としては、競争的市場状況や多期間モデルの枠組みを用いた契約解除料制度を考えることによって、より広い観点からの契約解除料制度の本質が捉えられると思われる。</p> <p>平成 28 年 2 月 26 日(金)に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 3-218 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して、学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で、当該論文が修士(経済学)学位論文として十分な内容であると判定した。</p>